

新マシンでの初戦、課題と向き合いながらも3位でフィニッシュ 2019年全日本ラリー選手権第3戦 ツール・ド・九州 2019 in 唐津

日頃はプレイドライブ全日本ラリー選手権参戦プロジェクトに多大なるご理解とご協賛をいただきまして、誠にありがとうございます。

「PD YH ノート e-POWER ニスモ S」は、4月12日（金）～14日（日）に佐賀県唐津市周辺で開催された2019年全日本ラリー選手権第3戦「ツール・ド・九州 2019 in 唐津」に参戦いたしました。



昨年までの「日産ノート NISMO S」から、発電用エンジンを搭載しモーターで駆動する「日産ノート e-POWER NISMO S」にスイッチして迎える初めての挑戦。チームは CVT 車両やハイブリッド、電気自動車が参戦する「JN6 クラス」に挑戦しました。このラリーは、舗装路の中でもタイヤへの負担が大きいシリーズ屈指

の難関で、今大会は新ステージも設定されました。新しい車両で迎える初めてのラリーのため、様々な課題が予想される日産ノート e-POWER NISMO S の伊藤隆晃／大高徹也組は、競技初日となる13日（土）、セッティングを調整しながらペースをつかみ、8SSを終えてクラス3番手につけます。6SSが設定された翌14日（日）は、2本のSSでベストタイムをマークするなど奮闘。終盤は雨も降り出す中、順位を守り切った3位に入賞し、電気自動車での初ラリーをポディウムフィニッシュで飾りました。

ドライバー 伊藤隆晃のコメント

「実戦の中で色々課題が判明し、良いと思っていたセッティングが合わずに手間取ってしまいましたが、これはこれで収穫になったと思います。次戦まで時間はなくどこまでできるか分かりませんが、同じターマック戦ですし、バッテリーがもつ間は本当に速く走ってくれるので、できるだけのことをやっていきたいと思います」

JN6 クラス リザルト

順位	ドライバー	コ・ドライバー	車両名	タイム/差
1	大倉 聡	豊田 耕司	アイシンAW V i t z C V T	1:08:26.2
2	板倉 麻美	蔭山 恵	DL WPMS Vitz CVT	+3:15.1
3	伊藤 隆晃	大高 徹也	PD YH ノート e-POWER ニスモ S	+3:53.2
4	いとう りな	大倉 瞳	YHブリッドAWオクヤマV I T Z	+4:14.0
5	クロエリ	加勢 直毅	CUSCO YH DAIWA FIT	+5:17.9
6	中西 昌人	福井 林賢	YH・WM・KYB・SPM・くまモン・8	+6:58.7
7	水原 亜利沙	中村 理紗	CUSCO DL CAR トップ NOTE	+8:07.4

参加台数7台、出走7台、完走7台

プレイドライブ

メカニックとして参加した 日産自動車大学の学生たち

日産京都自動車大学校より4名の学生が参加し、ラリーサービスを体験しました。3日間にわたり、限られた時間のなかでラリーカーの整備や経験を積みました。



齋藤佑育さん 自動車工学科3年

「昨年に続いての参加です。前は、ラリーの現場は普段よりもたくさんクルマに触れることができ、すごく楽しかったという記憶がありました。作業自体は今回も変わりませんが、気持ちに余裕があったので、より周りを見て取り組めたと思います。部活でもラリーの地区戦に参加しているので、いつも通りの作業を心がけました。自分の作業を振り返ると、もう少し2年生をフォローすることができたかと反省しています。またぜひ参加したいと思いつつ、他の人にもぜひ体験してほしいと思います」



山元彰悟さん 自動車工学科3年

「昨年の唐津で初めて参加しましたが、前はガチガチになってしまい、正直何をやったのかあまり覚えていませんでした。今回は、サービス以外の時間でもプロのメカニックの方から貴重なお話を聞くことができ、自分自身も作業に関して余裕ができたので、色々なことを吸収できたと思います。今回、日産ノート e-POWER NISMO S を初めて整備しましたが、前のクルマとの違いなどいくつか発見がありました。また、ぜひ参加してみたいと思います。せっかく唐津に2回出たので、来年の唐津を狙います（笑）」



木村大空さん ボディリペア科2年

「クルマをいじるのが好きで、実際にドライブするのも好きなので、ラリーへの参加を決めました。最初は何をするのか分からず不安がありました。とにかく、しっかり先輩やプロメカニックの皆さんの話を聞くことを心がけ、教えていただきながら、何とかやり切ることができました。自分の作業では、ブレーキのエア抜き中に工具が行方不明になってしまったり、色々反省点があります。一方で、時間内に整備をするという経験は、自分の力になったと思います。今回の参加を経て、ラリーが大好きになりました」



榮田龍己さん 自動車工学科2年

「トップカテゴリーのイベントに自分が参加できたことに驚いています。サービスでこうした作業をするということは、今回の参加で知ることができました。1日目はできないことも多く戸惑いましたが、2日目からは少し慣れて、成長できたと思います。今回、優勝争いをしているチームを間近に見ることができ、緊張感のある状況でのプロのメカニックの皆さんの動きの違いに驚きました。作業自体は学校でやっていることの延長線上ですが、緊張感や限られた時間内での作業なので、本当にいい経験になったと思います」

次戦は、5月3日（金・祝）～5日（日・祝）に愛媛県久万高原町で開催される第4戦「Sammy久万高原ラリー」（ターマック）です。引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。